一宮西高新聞

発行所
愛知県立一宮西高新聞部
一宮市萩原町串作河田1
電話一宮（68）1191
株式会社　大東社
電話一宮（62）1168

卒業おめでとう

大人への旅立ちを

校長　澤田喜之

卒業というのは新しい人生の誕生。本校での3年間の思い出を胸に、今、校門を出て立つ君達の一人一人が、自ら切り拓き自ら創りあげていく、君達の人生の豊かならんことを、一筋に祈るものです。

君達は、すでに大人であるか、それともまだ子供であるか。体格と体力、それに相当豊富に身につけた知識量からみれば、まさしく堂々たる大人であるといえよう。けれども、どこに出ても恥ずかしくない大人として、自分や自分にかかわる様々な事柄に責任をもって対処し、これを適切に解決しつつ生き抜いていくことができるかという面からみれば、まだまだ大人の免許証を与えることには、いささかためらわざるを得ない。とはいうものの、君達たちの中には、自分は大人の仲間入りをしたのだと思っている人も相当数いるかも知れない。

君達が就職すれば、充分大人として扱われよう。大学に進んでも、高校とは異なって大人的な扱いをされるだろう。しかし、明日から君達の周辺がどのように君達を接遇しようとも、君達の内なる己の資格が整っていなくては、大人の衣装をまとった子供でしかあるまい。どうか明日からは、大人への急速な旅立ちであると心得て、自己修練に努めて欲しい。

・自律ある言動と、それに対する責任
・自ら学び、自ら事を解決する態度の育成
・他者に対する協調と支援

など、修練の道は決して平坦でない。この自己修練の姿こそ、あるいは君達が大人たる姿であるといえる。

苦しい時ほど、胸を張って生きて欲しい。人間は必ず復元力を有するものである。しょぼくれそうになったら天空を仰いで、光と笑顔を得たまえ。大人になり得た君達と、握手することのできる日の近からんことを期待してやまない。

心からエールを贈ります

3年学年主任　入野勝年

卒業おめでとう。君たちの新たな出発（たびだち）を心から祝福します。

「君たちとの出会いは偶然ではなく、必然である。」と、入学式後の体育館で語ったことが、つい昨日のことのように思い出されます。あの頃の初々しい笑顔にも今では凛々しさが備わり、君たちの成長ぶりを見ることは、教師冥利に尽きます。

振り返ってみると、この西高での3年間は、正月恒例の箱根駅伝に例えられると思います。寒風の中、時には山あり谷ありの厳しい道をゴールに向かって走り抜く選手達。体型も違うし走り方も違う、もちろん、実力や経験もそれぞれ異なるでしょう。

しかし、お互いがそれぞれの短所や長所を良く理解してレースに活かし、チームが助け合いながらゴールに向かう。まさに、君たちが走り続けてきた3年間の道のりではないでしょうか。ただ黙々と前へ前へと走り続ける選手の姿に、誰もがエールを贈り、感動を覚えるに違いありません。

君たちは選手の一人一人であり、私たち教師もまた、君たちと共に3年間のレースを走り続けてきました。受験というレースを通して、君たちは、学力だけではなく、人間的な逞しさを養うことができたと確信しています。

しかし、これは駅伝の一区間に過ぎません。これから先、まだまだ過酷な試練がやってくることもあります。そんな時は、西高での3年間で培われた貴重な経験と教訓の数々、また、大切な友人をはじめとする様々な人との出会いを思い出してください。それらは、苦しい時の励ましや慰めとなり、新たな力と希望を与えてくれることと思います。

今日、卒業式を終えて出発していく君たち一人一人に、心から拍手とエールを贈ります。

「この世はわたしがわたしになるところ
あなたがあなたになるところ
「自分の花
名もない草も実をつける
いのちいっぱいに自分の花を
咲かせて」

…　相田みつを

教科書・参考書はじめ書籍・雑誌
事務用品のことなら
松清本店
稲沢市高御堂1-2-1
電話0587-32-0048
FAX0587-21-7419

論説

どうする？ゆとり世代の私たち

日本の学生の学力が低下している。国際学力調査での日本の順位が、読解力では00年に8位だったのに、06年には15位になった。数学的リテラシーでは、1位から10位。科学的リテラシーでは、2位から6位。ちなみに数学的リテラシー、科学的リテラシーとは、数学や科学の（特に生活面への）応用力のことだ。これを見ると明らかに順位が落ちている。

原因として大きく取り沙汰されているのが、「ゆとり教育」だ。

「ゆとり教育」とは、02年から施行された学習指導要領に沿った教育のことで、詰め込み教育を廃してゆとりある学校教育を目指した教育を指す。学習指導要領はこの年の施行に至るまで、段階的に削減されてきて、削減量は従来の学習指導要領の3割程度だそうだ。

ところが今、初めに述べたように学力の低下が問題視され、ゆとり教育の見直しが進んでいる。小学校は11年度、中学校は12年度から、学習指導要領を元に戻そうというのだ。理・数の一部は09年度から見直しが始まったので、今の1年生は中学校で少し見直し授業を受けている。だがそれはあくまで『一部』に過ぎず、2・3年生と共に、「私達はゆとり世代である」と言える。

適当に学習指導要領をいじられては、

―『適当』とは思わずに実行した人達には申し訳ないが―本当に良い迷惑だ。ただ、国は実際の教育現場の意見もろくに聞かず、机上の空論で学習指導要領の削減に踏み切ったとも言える部分があって、やはり非難は免れないと思うけれど。ゆとり教育は私達学生に甚大な被害をもたらした、と私は思う。もちろん国際順位が落ちたという点でも。だが、上の世代も下の世代も普通の教育課程を受けているのに、私達だけが「ゆとり教育」なるものを受けたという事実こそ、重大な問題だ。

例えば私は、学校で台形の面積の求め方を習っていない。初めて両親に教えてもらった時には驚いた。「お父さんやお母さんは習ったのに、どうしてわたしは習わないの？」学習指導要領の削減は、同時に私達の学ぶ権利をも制限してしまっているのではないだろうか。それだけではない。なにも台形の面積の求め方を習わなかったという、それだけで将来に大きな影響は出ないだろうが、このような基礎知識はじめ、多くを学ばないまま大人になった時、ゆとり世代の私達と、そうではない人との間には、自ずと違いができる可能性がある。もし、そのせいで就職できなかったり、後の世代の人が自分を飛び越えて昇進するのを見る羽目になったりしたら、どうするのだ。

学習指導要領をちょっと削減してみて、国際順位が下がったからやっぱり戻す！なんて許せない。たとえ今、学習指導要領を元に戻してこの後国際順位が上がっても、それは調査対象が変わっただけで、私達ゆとり世代自体が変わることはないのだ。教育という学生にとって最も大事な部分を、お上の都合でコロコロと変えてもらっては困る。

と、言っても、批判ばかりしていては何も始まらない。当初ゆとり教育が始まったとき、「子供が自ら学ぶ姿勢を尊重しよう」と言われていたそうだ。つまり、私達が自分で勉強する姿勢が大事なのであって、その内容は必ずしも教科書で習うような学問だけではないのだろう。また、文部科学省は「ゆとり教育」というより「総合的な学習の時間を増やす」つもりだったらしい。そのため総合が時間割に組み込まれた訳だが、確かにクラスメイトの前で発表したり、地域の方と交流したり、福祉について学んだりと、他の授業ではなかなかできないことができた。それは「ゆとり世代」ならではの、私達の強みだと思う。知識面では及ばなくても、総合で学んだ経験を生かし、「ゆとり世代」だからこそできるやり方で、世の中を渡っていくこともできるかもしれない。

（橋本紗矢香）

特集　映画

あなたは映画好きですか？

Part 1

今回の西高新聞では、映画について取り上げた。西高生の趣味についての記事なので、アンケート結果に自分を投影するなりして気軽に読んでもらえればありがたい。1年と2年で各2クラスずつアンケートを取った。協力に感謝したい。

どこで観ますか？

最初の、「映画は映画館で観るか」「自宅で観るか」についての質問の回答としては、映画館が1番になると思いきや、自宅と回答した者が最も多く、次いで、映画館、同じくらい、となった。DVDやBlue-ray、TV放送など、放送媒体が増えたことにより、映画を映画館以外でも楽しめるようになったということだろう。

どのくらいの頻度で？

次に、映画を観る頻度を聞いた。「3ヶ月に1回」との答えが最も多く、回答数は、それを中心に左右対称な形のグラフになった。これを見た感じでは、何だか西高生はあまり映画を観ていないような気がするが、西高生はやはり部活勉強で忙しいのだろうか。

次に、映画を観る際の選ぶ基準を尋ねると、一番多かった答えは「宣伝」だったのだが、それと僅差で「なんとなく」という回答が並んだ。なんとなくで選ばれたら、映画監督さんに気の毒な感じだ。暇つぶし程度の気持で観ているのだろうか。

次に、最近増えてきた3D映画への、西高生の反応としては、「観たことがないのでわからない」という回答や「興味がない」という回答が、群を抜いて多かった。盛んに宣伝されてはいるものの、やはり、まだその本数自体が少なく、観ていない者も多いのだろう。一方、観た者の感想としては、その迫力や臨場感を挙げるものが多かったが、一々3D眼鏡を付けねばならず面倒だ、という声も少なからずあった。

好きなジャンルは？

次に好きな映画のジャンルを聞いた。一番人気のあったジャンルは、SFで、以下順にアドベンチャー、ラブストーリー、青春&スポーツ…、という結果になった。（参考までにいくつか映画の例を挙げた。）男女問わず高い人気を誇るSFはタイムマシンやアンドロイドなど現実では味わえない世界観が楽しめる。『AVATAR』の大ヒットは記憶に新しい所だ。男子に人気のアドベンチャーは、ランボー、シュワちゃん、ブルース・リーなどの屈強なヒーローたちが敵をどかどか打ち倒す痛快さが気持ちいい。ラブストーリーの素晴らしさは言わずもがな、『或る夜の出来事』『マディソン郡の橋』『ノッティングヒルの恋人』…。愛は素晴らしいですね。青春&スポーツは若い頃と年を取った後で2度楽しめる。代表作には『スタンド・バイ・ミー』『ロンゲスト・ヤード』など。マニアックな所では、ミュージカル、カンフーが1票だけであった。『雨に唄えば』はミュージカルの、『燃えよドラゴン』はカンフーの、それぞれ名作だ。

映画の魅力は？

最後に、映画の魅力について尋ねた。

ダントツで多かった回答は、「ストーリーに入り込める」「感動できる」の2つであった。前者は映画を見終わった時の気持、後者は観る前の心構えだろう。映画を観る時は誰でも無意識のうちにこんな事を考えているのかも知れない。

他には「スリルを楽しめる」「ワクワクできる」なども多かった。前者はサスペンスなどの、後者はアクションについての魅力なのだろう。B級映画はこうしたことを純粋に追求しているからこそ（他の所は駄目だが）面白いのかも知れない。

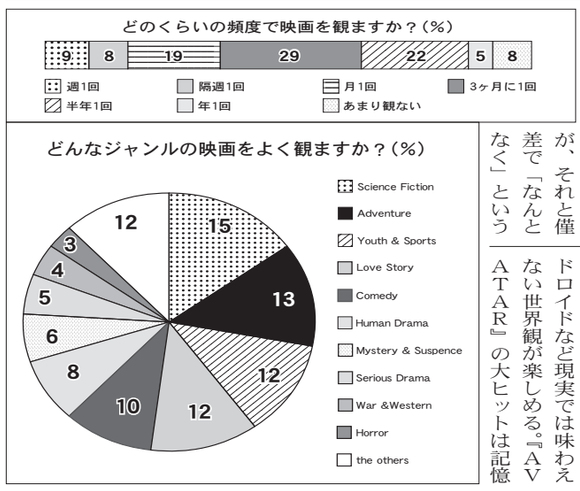
西高生の人気ジャンルの傾向を見ても分かるのだが、SFやアクション、ラブストーリーなど、娯楽性の高いジャンルを選ぶ者が多い。近年、ミニシアターと呼ばれる、主として芸術性の高い作品を放映する小型劇場の閉館が相次いでいる。無論、それにはシネコンなどの、複数の上映設備を持つ大型劇場が増えたことも挙げられるだろう。上映設備が複数あれば、ミニシアターの十八番である、芸術性の高い作品をも放映することができるからだ。

しかしそれには、若年世代の芸術性の高い映画を敬遠する傾向も関係していることを、忘れてはいけない。最近では、映画館が企画として、名作映画を再公開しているという所も少なくない。難解そうだ、などと辟易せずに一度いってみるといい。タメになるはずだし、きっとその面白さに病みつきになるだろう。

お勧めの映画は？

さて、これで西高生へのアンケート結果については終わりである。引き続き裏面では、先生方や新聞部員などが、おすすめの映画を紹介している。皆さんの映画選びの参考にどうぞ。

（光来出渉）



1月21日、稲沢市民会館において、3年生に贈る予餞会が行われた。各クラス、それぞれが先輩への感謝をこめ、工夫を凝らした出し物を発表した。

笑いをとるクラス、反対にシリアスな劇をするクラスもあったりと、今年はバラエティが豊かで良かったと思う。

また惜しくも予選を通過できなかったクラスは、3分間スピーチで先輩への思いを伝えた。

そして最後には待ちに待った、先生方による発表だ。力強い歌声で3年生を励ました。

この予餞会は、いつまでも3年生の西高での最高の思い出の1つとして残るだろう。予餞会が、西高の伝統としていつまでも続いていくことを願っている。

陸上部　雪かきに大活躍

思いもかけぬ大雪

1月16日に大雪が降った。名古屋市で5年ぶりに10センチ以上の積雪を記録したというこの日、西高でもかなり多くの雪が積もっていた。

道路も真っ白だったが、校内の校門から昇降口へと続く道では、先生方と陸上部の人たちが中心となって、雪かきをしてくれていた。そのため、次の日からも凍結の不安がなくなり、安心して登校することができた。

こういう時に、「雪かきがされているのは当たり前」と思うのではなく、寒い中で雪かきをしてくれた人のおかげだという、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思う。

（橋本紗矢香）

春が来た

新品の生徒手帳や揚げ雲雀　嘉祥
蝶踊るパステルカラー着こなして　孝啓
朝東風や今日の始めの清々し　紗矢香
山霞む錆びし線路に春一番　大樹
学生の笑いとともに山笑う　隼太

作

東京ディズニーリゾート。みなさんも1度は行ったこともあると思います。そこは、まさに『夢の国』です。一歩足を踏み入れれば、もうそこは別世界です。▼しかし、私たち《ゲスト》が思いっきり楽しめるのは、《キャスト》のおかげでもあります。キャストは、いつもゲストを笑顔で迎えてくれます。そして、ゲストまで笑顔になります。そんなキャストに憧れたことはありませんか？私はとても憧れます。将来TDLで働きたい！なんて思ったりします。あんな夢の国で働けるなんて幸せだし、毎日とても楽しいと思います。▼そんな夢の国での出来事です。私は、夏休みにTDSに行きました。そこで、お昼のショーを観るために、座って待っていました。その場所は日陰がなく、座っているだけで汗が流れてきました。だんだん人が集まってきた頃、いよいよショーのスタートです。キャラクター達がゲストの近くまで来て、楽しませてくれました。▼しかし、その途中であることが起こりました。それは、ショーが終わりに近づいた頃、私の前あたりに座っていたゲストが立ち上がり、その場から離れようとしました。さらに、そのゲストにつづいて、他のゲストも立ち上がり始めました。まだショーの途中なのに、と邪魔に感じました。すると、近くにいた1人の女性のキャストさんが「まだ途中ですので立ち上がらないでください。」と呼びかけていました。ああ、さすがだなあと思いました。▼しかし、そのゲスト達は一度は座ろうとしたものの、キャストさんが注意しているにも関わらず、次々と立ち上がり、去っていきました。そのキャストさんはとても困っていました。大変ですね、とそのキャストさんに話しかけると（もう…泣きたいです…）とおっしゃいました。▼その一言で、なんだかTDRの裏側が見えたように思いました。いつも笑顔のキャスト。でも、その裏では大変な苦労、そして努力があるのだと思います。私はこのことをきっかけに、軽々しくキャストになりたい！なんて言ってはいけないと感じました。だけどその分、さらにキャストに憧れたし、尊敬しました。今度TDRに行くときは、少し違う目線でTDR、そしてキャストが見える気がします。（伊藤愛梨）

計量器・OA機器
事務・学用品・書籍
紙徳商店
一宮市萩原町萩原
TEL 68−0034
69−4121
FAX 69−2466

Rice Creation
おコメの新しい価値を創出し、
生活文化の向上に貢献する。
共和食品グループ　愛知県一宮市萩原町萩原183番地
営業所／東京・大阪・石川・静岡
本部　共和食品工業株式会社　TEL(0586)69-0001　FAX(0586)69-0003
仕出し・給食　株式会社共和フードサービス　TEL(0586)69-0001　FAX(0586)69-0003
米穀卸　株式会社名古屋食糧　TEL(052)581-0351　FAX(052)581-1283
米穀精米　山水米本舗株式会社　TEL(0586)69-0002　FAX(0586)69-0007
食品加工　エイティエイト株式会社　TEL(0586)69-7777　FAX(0586)69-7778
食品加工　エイティエイトジャパン株式会社　TEL(052)693-2222　FAX(052)693-2224
米穀精米　共和食品株式会社　TEL(0586)69-0002　FAX(0586)69-0007
ネット直販　吟米本舗株式会社　TEL(052)220-3188　FAX(052)220-3189

購買で
飲み物を販売しています
自販機の利用もよろしく
笑顔のそばに
MEGMILK
メグミルク君島
46−3362

郷土歴史 66　名古屋　有松・桶狭間

歴史感あふれる町並み

天皇誕生日の12月23日、今回、私たち新聞部一行が取材旅行に向かったのは、名古屋市緑区にある有松である。そして、今回の取材旅行が私にとって、初めてだったということもあり、非常に楽しみでもあった。その日は、少しばかり寒かったが、絶好の散策日和であった。

◇

まず、私たちはしばらくの間、旧東海道の町並みを散策することにした。さすがは旧東海道。歴史を感じさせる古くて、立派な建物が旧東海道沿いの至る所に軒を連ねていた。どれも素晴らしい景観をかもし出していたがその中にも、飛びぬけて門構えがしっかりしていて、家自体も立派ないわゆる邸宅と呼ばれるものもあり、見る者をまるで威圧するかのようにズシーンと構えているものもあった。

ひととおり見回った後、「有松・鳴海絞会館」に行くことにした。突然ですが、皆さんは、「有松」といったら何が頭に浮かぶだろうか。おそらく多くの人が「有松絞り」と答えるだろう。そこで、「有松絞り」の歴史について紹介したいと思う。

「有松絞り」の歴史は、江戸時代の初めまで遡ることになる。徳川家康が江戸に幕府を開いてまもない慶長13年（1608年）に、絞開祖竹田庄九朗らによって誕生した。旅人が郷里への土産にと、競って絞りの手拭、浴衣などを買い求め、これが街道一の名産品となり、その繁盛ぶりは、葛飾北斎や歌川広重の浮世絵に描かれたほどである。

さて、「絞り会館」の1階では、有松絞りで作られたさまざまな商品が並べられていた。資料は2階にあるということだったので、入館料を払っていざ2階へ。2階では、スタッフの人が「有松絞り」のビデオを見せてくれた。今回、この取材旅行するにあたっていろいろと予習してきたが、ビデオの中の映像には、有松に住んでいる人にしかわからないようなとてもローカルな情報もあって、非常に勉強になった。

ビデオも見終わって、しばらくの間、自由行動。新聞部一行は、座ってある手作業をしている2人のおばあちゃんを見て驚いた。それは、布に糸を巻きつけて、「絞り加工」をしているおばあちゃんであった。何に驚いたかというと、おばあちゃんたちの手の動きで、目にも止まらぬスピードで糸を布に巻きつけていくのであった。その動きは、手先が覚えている、まさに職人技というべきものであった。

その後、資料や展示品を見学した。個人的に気に入った展示品は「有松絞り」で作られた、鎧兜である。私もあの鎧兜を着て、「出陣!!」といってみたいものである。

帰りには1階の売店で、皆思い思いにお土産を買った。私は祖母に、「有松絞り」で作られたハンカチを2枚と、母にも同じく「有松絞り」で作られている豚のマスコットを買った。帰宅後、さっそくお土産を渡した。反応はイマイチだった。私にはこういうものを選ぶセンスがないことに気が付かさせられた。ガックリ…。

続いて、文化財に指定されている建物を回った。特に印象に残った「竹田邸」は、軒先にガス灯の名残をとどめる門灯があり、2階の壁の黒漆喰の塗ごめ造りが特徴だ。

町屋の屋根には、隣家との間についた小さな防火壁「うだつ」が見られる。うだつを屋根に上げるのにはそれなりの出費が必要であったことから「うだつが上がらない」の語源になったそうだ。

◇

やっと、昼食の時間がやってきた。有松らしいものを食べたいと思っていたが、そんなものがなかったので、仕方なく近くのショッピングセンターの中の飲食店で食べることにし、「あんかけスパ」を食べた。私はおいしいと思ったが、先生にはイマイチだったらしい。

ここでおなかも満たされたところで、桶狭間古戦場跡地に向かった。「桶狭間の戦い」といえば、今川義元と織田信長との合戦で、今川義元が2万5000の兵を率いていたのにもかかわらず、たった2000の織田軍に敗れたこととして有名だ。

しかし、桶狭間がどこにあったのか、実はよくわかってないそうで、ここだと言われるところが2カ所ある。そこで、豊明市の中央競馬場前の古戦場跡地を訪れた。そこは駅から徒歩5分のところにある。跡地は現在公園になっており、とにかく石碑が多かった。石碑しかなかった。

道路を挟んだ向かいに「高徳寺」という寺があり、そこへ向かった。その境内には、「今川義元本陣跡」があり、その背後を下って織田信長が奇襲したといわれる坂があった。私たち一行は、その坂を上ることにした。

頂上で私たちを待ち構えていたのは、すでに前から閉館になっていた資料館であった。これには、部員全員ため息をついた。一行は織田信長の気分になったかのようにその坂を下っていった。これで私たちの取材旅行の旅は、無事終わった。

◇

この取材旅行から学んだことは、有松の町並みも桶狭間の古戦場もみなそうだが、このように、現在も400年、500年前のものを見ることができるということは、素晴らしいことだと思う。こうした遺産を見ることができるのは、もちろんそれを守ってきた人たちがいたからである。そして今も、後世の人たちに伝えるために、努力している人がいる。私たちは、それに謙虚に学んで、いかなくてはならない。

（前田晃佑）

有松のまちなみ保存地区にある竹田邸

有松絞りの実演

信長はこの坂道を下っていったのかも知れない

MY SCHOOL DAYS

祖父江 泰浩 先生

佐織の田舎で生まれ育ったは、都会へのあこがれを持ち、名古屋の高校へ進学しました。しかしそこは田舎とは全く違う異質の世界で、慣れるのに随分苦労をしたものです。

私の高校生活は、今思えばとにかく回り道ばかりしていたようです。

まず部活動はテニス部ではなく、柔道部に入りました。汗臭い柔道着を着て、アスファルトが溶けるような暑い日も、雪が積もる寒い日も、稽古の前には裸足で毎日外周を走っていました。こう見えても段試験では4人中3人に勝つ「準抜群」で、黒帯を取りました。球技もそこそこはこなせ、体を動かすことが好きだったので、将来の第1希望は「体育の教員」でした。

ところが、3年生のインターハイ予選の柔道の団体戦。1回戦の相手は「服部兄弟(双子)」を擁する東海高校。試合は私たち5人が5人とも秒殺されて、開いた口がふさがりませんでした。1回戦も勝てなかったことはショックで、体育の教員になる夢は挫折しました。

《後からわかったのですが、あのとき対戦した東海高校の「服部祐兒」君は高校2年ですでに全国制覇をしており、その後同志社大学に進むと相撲に転向し、学生横綱に。そしてその後はプロの大相撲に入り、「藤ノ川」のしこ名で活躍したスーパーマンでした。かなうはずがなかった…。》

また、私は現在は日本史の教員ですが、高校では理系を選択してしまいました。体育の教員の夢が挫折した後は、「数学」次に「物理」の教員になりたいと思い、数Ⅲや物理Ⅱの難問にチャレンジする日々を過ごしていました。

ところが1学期期末考査の古典の勉強をしている時でした。

高校時代の回り道ばかり

防人の歌「唐衣　裾にとりつき泣く子らを　置きてぞ来ぬや　母なしにして」に感動し、項羽の「四面楚歌」の場面に出てきた詩に心を動かされてしまいました。次の日の朝、登校中のことです。私が感動したことを熱っぽく話すと、隣の友人は私に「祖父江、お前文系じゃない?」とポツリと言ったのです。その友人はそんなことを言ったことは全く覚えていないとのことですが、無責任とも言えるその一言で私は自分の進路を大きく変え、文転してしまいました。

《私の運命を変えたその友人は、現在一宮興道高校で国語の教員をしています。》

そして私の高校は、今の西高からは全く考えられませんが、人前では勉強しているところを見せない学校でした。人前で勉強しないことがある意味「誇り」だったのです。今思えば、全く屈折した環境でした。そしてタイミング悪く、私たちの年代から新しく大学入試の「共通1次試験」が始まりました。今のセンター試験です。この入試改革は授業の正常化を図ろうとしたものだったので、「受験勉強は不要である」などと声高に言われました。もっと言えば、「受験勉強をすることは悪である」とさえ言われたのです。そんな世間の風潮を、自分の都合のいいように解釈し、受け止めて、私は本当に勉強・学問というものをなめていました。

高校時代の試験の点数で覚えているものがあります。英語でした。高校2年最後の実力考査はさほど難しくはありませんでしたが、私の得点はなんと27点！　答案の返却の時、英語の先生は「全然ダメだ!」と怒鳴り、みんなの前で私の答案を放り投げました。忘れられない屈辱的な思い出です。

その後かなり発奮して頑張ったおかげで、高校3年生の最初の英語の実力考査は、難しかったにもかかわらず73点。順位も偏差値も出してくれない学校だったので、どれくらいよかったのかはわかりませんが、答案返却の時、先生は「祖父江、(点を)とり過ぎ!」とニッコリ笑ってくださいました。当の私は、点数が27＋73＝100と、足せば100になる、足せば完璧だ、などと単純に喜んでいました。

回り道の多かった私の高校時代でしたが、みなさんには将来の目標をしっかり持ち、その目標を見据えた上で、目標に向かって一歩一歩着実に努力する生活を送ってもらいたいと思います。そして努力することで夢がかない、またその努力する過程で人間は大きく成長することを、この西高での生活の中で是非、身をもって体験してもらいたいと思います。みなさんはそれが可能な環境の中に今いるのです。私はみなさんをとてもうらやましく思います。

そうそう、高校1年と3年の時のクラスメイトで、英語が大変よくできる「女の子」がいました。彼女の勉強姿勢は超然としており、努力を惜しまないその姿や集中力は尊敬に値しました。その彼女とは、現在同じ職場で働いています…そうです。この一宮西高校で君たちを教えてくださっているあの先生です！

特集　映画

勧めの映画この1本

南太平洋
ジョシュア・ローガン

本当は反戦映画なのですが、リチャード＝ロジャース&オスカー＝ハマースタイン二世の名曲「バリ・ハイ」とともに、頂上付近を雲に覆われた島や、美しい花など、わたしの地理心をくすぐって止まない美しい映画でした。

（平澤先生）

隠し砦の3悪人
黒澤　明

ルーカス監督が「スターウォーズ」のアイディアをこの作品から得たことは有名です。冒頭やラストシーンは、そっくり。ロボットたちのとぼけたやりとりも、この作品をもとにしています。ぜひ見比べてみて下さい。（望月先生）

ライムライト
チャールズ・チャップリン

自殺を図ろうとしたバレリーナを道化師が美しく力強い言葉で救い、彼女を立ち直らせようとする。徐々に彼女は回復し、逆に道化師は、バレリーナが優雅にライムライトを浴びる中、息を引き取る。

（岩田孝一先生）

Psycho
アルフレッド・ヒッチコック

会社の金を横領した女性が、殺された!当時の映画製作倫理規定をすり抜け、70回ものカットで構成された身も凍る殺人シーンの緻密さと、それを引き立てるスリリングな展開をぜひ一度自分の目で見てみて下さい！

（桟敷先生）

亡国のイージス
阪本順治

最初のシステム護衛艦「いそかぜ」は、真相をめぐる国家間の策謀にまきこまれ暴走を始める。交わるはずのない人達が交錯し、守るべき物を失った楯（イージス）がもたらす恐怖とは。日本人が忘れかけているものが見つかる一作です。

（2年　渡辺翔太）

トワイライト
キャサリン・ハードウィック

人間、吸血鬼、狼人間の3つの種族が織り成す物語。ベラとエドワードの種族を超えた愛、狼人間と吸血鬼の迫力のある戦いが見どころです。恋愛物語が好きな人はもちろん、ファンタジーが好きな人にもおすすめです。

（2年　小出梨紗子）

相棒―劇場版Ⅱ―警視庁占拠！特命係の一番長い夜
和泉聖次

相棒を見始めたのは最近だけど、あまりに良くて映画まで見ちゃいました。映画ではドラマ以上に杉下さんと神戸くんがカッコイイ♪話ももちろんおもしろいけど、2人の格好良さをアピールしたいです(笑)。（2年　橋本沙矢香）

マリと子犬の物語
猪股　隆一

この話は、新潟県中越地震の時の、実際にあった話です。見所は、地震によって離ればなれになってしまった犬の「マリ」と飼い主の少女が最後に再会するところです。その時、涙を流して感動しました。ぜひ、ご覧下さい。

（1年　前田晃佑）

オペラ座の怪人
ジョエル・シュマッカー

歌やダンスが盛りこまれた最高の映画。この映画の魅力は何と言っても、個性的な役者達が奏でる歌、迫力のある演出です。すごく引きこまれます。華やかな舞台ですが、少し悲しい愛の物語。衝撃的なラストに驚嘆します。

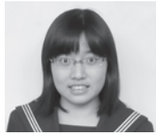
（演劇部）

ニューシネマパラダイス
ジュゼッペ・トルナトーレ

主人公が恩師の死をきっかけに自分の過去を回想する、映画館パラダイス座、恩師アルフレード、初恋、出兵、そして…。叙情的なBGMに支えられて話は展開し、ラストでは涙が止まらなくなるはず。絶対におすすめです。

（2年　光来出渉）

スピーチ



3年3組　森由紀子さん

このままでいいのか日本人！！！

突然ですが、もしこれから数年間、住み慣れた日本を離れて海外に移住しなければならなくなったとしたら、あなたは一体どう思いますか。なかには跳んで喜ぶ方もいらっしゃるかもしれませんが、おそらく多くのみなさんは、海外に移住することよりも日本にとどまることを強く望むのではないでしょうか。

実際、我々日本人のこのような傾向は数字となって現れています。例えば、アメリカへの留学生数をとってみると、インド、中国、韓国からの留学生数はここ数年で急増しているのに対し、日本からの留学生数は10年で約4割も減っていることがわかります。また、新入社員の海外赴任に対する意識調査においても、「海外赴任を命じられたらできるだけ拒否する」といった回答が約半数の49%を占めるという結果がでています。

このように、世界では「グローバル化」が進んでいるにも関わらず、現在の日本では、国内での何不自由ない生活に満足し、海外に対して興味を持たなくなる「内向化」の傾向が強くなっているのです。果たして日本はこのままで大丈夫なのでしょうか。私は、グローバル化社会において「内向化」をする日本と、そんな日本のこれからについて考えたいと思います。

「グローバル化」の進む現代における日本人の「内向化」の理由としては、日本人が海外に行って新しいものを見て学ぶことよりも、すでに経済的に発展しており、治安もいいこの日本で安全で便利な生活を送ることを優先していることや、我々日本人が海外に対してどこかマイナスな印象を持ちがちなことが挙げられます。このような日本人の「内向化」の傾向が、海外への渡航経験のある私にはとても悲しく、そして危険なものに感じられます。

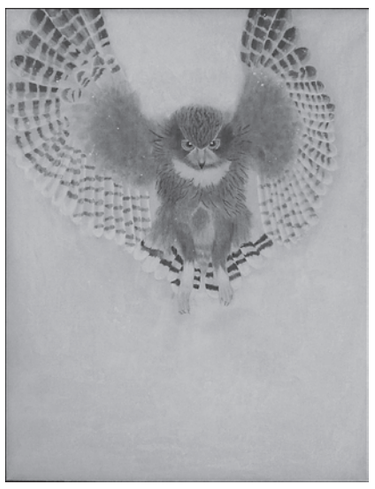
私は、幼少期に東南アジアの国タイに4年間住んでいて、その間にカンボジアやベトナムなどの東南アジア諸国を旅行したことがあります。そんな私にとっては、海外はとてもいい所ばかりだと思われるのですが、友人たちに話を聞くとどうやらそうは思っていないようでした。では、その友人たちに一体海外にどんなイメージを持っているのか聞いてみると、『治安面や衛生面が日本よりも悪そう』とのことでした。…確かにそれは海外の一面であり、必ずしも「違う!」とは言い切れません。

しかし「内向化」する今の日本人に必要なのは、そのようなイメージにとらわれずに海外に目を向けることなのです。海外には上辺だけでは判断できないことや、住んでみないとわからないことは山ほどあります。それにも関わらず、私達は、海外に対して、無意識にプラスな印象よりマイナスな印象を先行させているので、何かと海外に対して偏見を持ちがちなのです。私はその偏見が日本人の「内向化」を助長している気がしてなりません。

経営、販売、研究開発など、あらゆる領域でグローバル化が進んでいる現代。もちろん私達の住む日本もこのグローバル化の真っただ中にありますが、海外に対しての知識や関心が薄く、ましてや海外に何かと偏見を持ちがちな「内向化」する私達日本人が、果たしてこの「グローバル化」の波に乗ることはできるのでしょうか。私は今の日本がこの波に乗れるとは到底思えません。国内にしか目を向けない日本人が、これからの国際競争の時代を生き抜いていくことは普通に考えて非常に困難でしょう。このままの姿勢を貫く日本や日本人に明日はない！といっても過言ではなく、むしろそのくらいの危機感をもつべきではないでしょうか。

世間では、「グローバル化」する現代において、「現場で役立つ英語能力」や、意志や情報を的確に伝えあえる「コミュニケーション能力」が必要と叫ばれています。しかし、私はそれ以前に、海外に対するマイナスな印象を捨てて、プラスな面をしっかり見つめていくように積極的に努力をしていくことのほうがより重要だと思います。日本が今後、世界の「グローバル化」の波に取り残されるか否かは、「内向化」に対してのこれからの日本人の取り組み次第であり、その取り組みが功を奏したときに、我々日本人と日本社会はより世界へと羽ばたけるのだ、と私は考えます。

岩田実希子さんの日本画
県総文祭の展示決まる



「アートフェスタ　愛知県高等学校総合文化祭　展示部門」（県教育委員会、県高等学校文化連盟主催）に、美術部の岩田実希子さん（2の1）の日本画が出品展示されることが決まった。

『雪原の梟』と題された作品はF50号のサイズで、雪原に舞い降りようとしている1羽の梟の躍動的な姿が、細かい筆致で描かれている。

8月16日～21日まで、名古屋栄の県美術館ギャラリー8階J室に展示されることになっている。

西高の木 18
ヒイラギナンテン

メギ科の灌木。中庭などに植えられている。南天の仲間で、葉がヒイラギに似ていることからこの名前がついたと言う。しかし、実は赤くはなく、緑色から熟すと紫色に変化する。

冬から春にかけて、きれいな黄色い小花を房状につけて、芳香がある。

葉には鋸歯があり、触るとけっこう痛い。庭によく植えられるのは、防犯のためかも知れない。

節分に鰯の頭をヒイラギの小枝に刺して玄関に吊して邪鬼を払うが、そのヒイラギはモクセイ科のヒイラギである。ただ、近年ヒイラギナンテンが入手しやすいためか、節分用に売っていることがある。

編集後記

▼何が嫌かって、私が習わなかった事を弟は教えてもらえるのが、ね…（笑）ゆとりとか止めてほしいーわー　（さ）

▼TDSに行きたい！いろんな所に行って、いろんなことやりたい！でも今は、やるべきことをやらなくちゃ　（あ）

▼予餞会で私が一番気に入ったのは7組の出し物でした。来年は、ぜひ先生にも出ていただけると嬉しいです。（り）

▼今回の取材旅行先の有松の町並みは、僕を江戸時代にタイムスリップさせたような気分にしてくれました。　（こ）

▼最近、癒しグッズが流行っています。僕は夕日を観ていると心が癒されるのですが、もう年なのでしょうか。（し）

▼映画という、図らずも自分の好きなものを特集にできました。皆さんにも好きになってもらえたら幸いです。（わ）

『西高新聞』を一緒に作りませんか！特に、1年生を大歓迎。兼部でもOK。